運営会議たより

3月/2018年/NO.33

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

■特集■P2～3
「第二回全員会議／20周年事業報告」

東京オリンピックとまちづくり

東京オリンピックまであと2年。隣町・藤沢では、江の島を舞台にセーリング競技が行われます。昨秋、江の島の風や潮、地勢などの調査に各国の競技者・関係者が江の島を訪れました。今年９月の国際試合、来年夏のプレ五輪を控え、既に腰越など鎌倉市内では各国の合宿所が設置されつつあります。

藤沢市では、江の島がセーリング会場に決定後、関係者・市民活動団体と協働し、全市的な「五輪を盛り上げる」活動に取り組んでいます。

鎌倉はどうでしょう。昨年５月、市の推進基本方針が発表され、その具体策が待たれます。

セーリング競技の期間は2020年７月28日から８月８日の14日間。江の島には、観客席が5000人分用意され、競技関係者3000人が訪れると聞きます。

東京オリンピックで鎌倉を訪れる観光客に加え、観戦者関係者が立ち寄れば、様々なことが案じられます。案内所・案内板の不足、道路の渋滞、江ノ電やモノレールの混乱など。

これをお祭りととらえ、チャンスととらえ、市の基本方針でいう「オール鎌倉」の一員として市民活動団体が知恵を絞って乗り越えられないか。そして、次代へつなぐまちづくりの一助とならないか。

市民活動団体も積極的にアイデアを出し、東京オリンピックを盛り上げていきたいものです。

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市 NPO センター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

第二回全員会議レポート

今年度第二回の全員会議が平成30年2月17日(土)若宮大路ビルで開催されました。31名の正会員が出席し熱心な議論が行われました。

この時期の全員会議の目的は、理事会が正会員に今期の活動を報告し次年度の活動に向けて正会員から意見を聴くことです。

前半、理事長から、活動報告と次期指定管理者応募に向けての準備や来年度20周年を記念する事業の発表がありました。

事務局からは、認定ＮＰＯ法人更新手続きの件、運営会議の登記簿上の住所を変更する件、総会へ向けて選挙管理委員会を設置する件などの報告があり、続いて今年度入会の正会員3名の自己紹介が行われました。

その後はＮＰＯセンターと各部会の報告、そして20周年記念事業委員会の報告と続きました。

後半の意見交換では、理事長の今年度の決算見込みは赤字模様との発言の後、「役員は現在、無報酬。これでは長続きしない。寄附を募るなどして、財政的基盤の強化に努めるべき」、「オリンピックを、市と市民活動団体とが手を取り合って盛り立てることはできないか」、「市民活動推進条例(案)にもっと積極的に係わっていくべきではないか」などの意見をもとに論議されました。



条例案の議論では、市は再度条例作成に取り組み、今年9月以降に再提案する予定との事務局報告に対して、「運営会議として意見を出し、存在感を示すべき」との意見、「個々の市民活動団体が発言する場をつくることが大事、運営会議が意見を纏めるなど先頭に立つ必要はない」との相反する意見が出されました。

これらの意見を次期の活動にいかに活かすか、新執行部の課題です。

NPO 支援かまくらファンド
女性審査委員募集

◇公開審査会　11月3日（土・祝）
◇募集人員　２名
◇応募資格　市民活動の経験のある方
◇応募期間　７月30日（月）まで
◇申込/問合　NPO センター鎌倉

寄附集め（全員会議から）

先日の全員会議でのひとコマ。20周年記念事業のひとつ特別ファンド小委員会のある委員が、伝手を頼って、ファンド資金の寄附集めに鎌倉の企業や団体を回っていると紹介され、図らずも会場に拍手が湧きました。

彼は、寄附を募るにあたって、公共性の強い審査会を経て、鎌倉の市民活動に直接支給されるという健全性が、寄附者の理解を得るのに効果的だと現場を歩いて感じるそうです。

運営会議は種々の事業を行っています。寄附が、市民が市民を支えるファンド資金のみに使用されることに疑問を持つ方もいるかもしれません。しかし、彼は言います。ファンド資金として運営会議の準備した金額が、頂いた寄附によって低減すれば、浮いたお金は他の事業に回るのではないか。結果、組織の体力を強めることになるのでは、と。

嬉しいことに、「その陰の努力に感動した」と、ある正会員から寄附の申し出があったとのこと。彼は、「黙って実行が男の美学、紹介されてちょっと恥ずかしい」と照れました。

焦らず地道に、一人一人が身近な方に寄附をお願いすれば、寄付に対する壁も低くなるのではないでしょうか。

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定 NPO 法人」格を取得しています

“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
寄附した場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます。
お問合せは NPO センター鎌倉まで。

市職員の市民活動体験アンケートより

協働事業推進部会の活動のひとつ、市職員の市民活動実地研修が、昨年11月下旬から12月初旬に行われ、49名の若手職員が11団体の活動に参加しました。

そして、この体験者を対象に受入団体をまじえて「この経験を仕事にどう活かすか」のワークショップが3月15日商工会議所で開催されます。（紙面の都合で報告は割愛）

実地研修に参加した市職員のアンケートの一部をここで紹介します。

否定的な意見はほとんど見られません。例え半日でも、目的に向かって、ともに体を動かし汗すれば、作業を通じて達成感や親近感が生まれ、仲間意識が芽生えるからでしょう。

全般的な感想は「市民活動を内側から見る良い機会だった」、「地域の人々と触れ合う貴重で有意義な時間だった」、「市民の方たちの思いや熱意が知れてよかった」、「市民の草の根活動がこの街を支えていると実感した」等の意見が多数を占めました。

建設的な意見もあります。例えば、「この素晴らしい活動に、市としていかに若い人を参加させるか考えないといけない」、「このような一日体験を、市が市民を対象に企画し開催できないか」、「市民活動の認知と理解を、市職員だけでなく子供たちにも広げていくべきだ」等の意見です。

今後も、実地研修と座学研修を一体として、市と市民活動団体が議論を深め、続ければ、少しずつコミュニケーションが向上し住み良く力強い街に変わっていくのではないでしょうか。希望が湧きます。

左は今回の受入団体の一覧です。

受け入れて頂いた団体の皆様、ありがとうございました。心より感謝致します。そして、新たな団体の参加の申出をお待ちします。

受入団体一覧表

- NPO法人　輝き･遊っ子楽っ子
- 鎌倉を美しくする会
- 憩い宿
- 鎌倉常盤山の会
- NPO法人　山崎・谷戸の会
- NPO法人　鎌倉広町の森市民の会
- 玉縄城址まちづくり会議
- かまくら笑ん座(えんざ)
- NPO法人　鎌倉みどりのレンジャー
- NPO法人　タウンサポート鎌倉今泉台
- 公益財団法人　鎌倉風致保存会

市民活動センター設立20周年記念事業の中間報告

20周年記念事業は**「多くの皆様に市民活動を知ってもらい、気楽に市民活動に参加してもらう」**ことが狙いです。

住みよい街に、との思いで行う小さな活動も市民活動ととらえ、更に自治会や学校など地元で活動する方たちとも連携して進める企画です。

コンセプトは市民活動の**「和をつなぐ、輪をひろげる」**です。

〈5つの事業〉

（1）記念誌の発行

過去・現在・未来に、焦点をあて、写真やイラストを多用して活動団体を紹介。

スケジュール…▼原稿依頼　2月末　▼脱稿　7月末　▼製本完了　11月初旬

原稿依頼先…NPO団体、他のNPO中間組織、自治会、行政、運営会議で活躍された方など

（2）特別ファンド

応募枠を複数の団体が協働した活動や自治会／学生の活動にも拡大する。

スケジュール…▼応募案内　3月開始　▼応募締切　9月29日（土）　▼公開審査会　11月3日（土）　▼ファンド資金　１００万円。

前年度受給度団体の発表会は、フェスティバルで行う。

（3）かまくら市民活動フェスティバル＆（4）講演会

幅広い年齢層の方々に市民活動の意義、楽しさを伝えられるものを企画する。

▼開催日…8月25日（土）26日（日）鎌倉生涯学習センター

▼ホール企画…8月25日（土）午前音楽会　午後　映画「おだやかな革命」＋座談会［枝廣淳子(環境ジャーナリスト）渡辺智史(映画監督）他］

▼ギャラリー企画…従来の企画に加え、①高校生のボランティア報告②近隣センターの紹介③企業出展ブースなどを検討中

映画「おだやかな革命」の概要

社会の大きなシステムに依存せず、地域の自然資源を生かし、地域のエネルギーを生み仕事を生み新しいコミュニティを生み「あたりまえ」であった本当の豊かさを取戻す人々のおだやかで力強い挑戦のドキュメンタリー映画

（5）交流懇談会

▼日時　12月1日（土）　13時～15時　▼参加人数　約１００名

▼会費　二千円（予定）　▼会場　鎌倉パークホテル（送迎あり）

事務局たより

ＮＰＯセンター鎌倉では、今日もある団体の会報作りにコピー機がフル回転。集まった方々のやり取りが事務所内を飛び交います。狭い空間が、人と会話で溢れ、盛況です。

事務局に係って９か月。皆様のご協力で、次年度に向けたスタッフや事務局の補充要員も整い、いま特訓中。

一大行事「鎌倉市ＮＰＯセンター20周年記念事業委員会」は、既に10回の正式会議を経て具体的な事業の形が見えてきました。これからが正念場。委員がそれぞれの役割をコミュニケーションよく果たすこと、これが成功のカギになりそうです。

「認定ＮＰＯ法人」の更新は、申請書を２月末に県のＮＰＯ協働推進課に提出し、４月以降、担当官のチェックと実態確認等を経て、基準を満たせば更新されます。

市民活動推進条例(仮称)案は修正され、再度、議会で審議されます。その解説資料「市民活動・協働の推進のための市の施策」(案)には、私たちの活動に直結する事柄が列記されています。

９月予定の「指定管理者」公募で、その機能のいくつかが提示されることでしょう。その応募には、私たちの今の体力で、できること、やらなければならないこと等々を見定めて、身の丈に合った対応をすべきではないでしょうか。

ともあれ、ひと・もの・かね・情報で、鎌倉の市民活動を支援するセンター機能は、この街に欠かせません。

次年度は、機動力が発揮できる盤石な体制を目指したい。５月26日開催の第19回総会では、枠いっぱいの役員（理事、監事）を選任することが肝心です。

「選挙管理委員会」を３月中旬に立ち上げ、正会員の皆様からの立候補を受け付けます。

20年間積み重ねた知見と経験を原動力に、新たな出発としたいものです。

（事務局長　出川克己）

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

かながわイーパーツ
リユースPC寄贈プログラム

第15回募集ご案内

リユース PC 寄贈プログラムは平成 30 年度も実施されます。企業から放出されたパソコンにマイクロソフト社が市価の１割程度で提供するソフトを装着して、3～7 千円程度の費用負担で市民活動団体に譲渡するものです。

第 15 回寄贈プログラムは、以下の要領で募集と審査が行われます。

・募集期間	2018 年 4 月　9 日 ～ 6 月 29 日
・審査会	2018 年 7 月 18 日（予定）
・寄贈式	2018 年 8 月 25 日

応募等、詳細は「NPO センター鎌倉」へお問い合わせください。

ほやほや 正会員

若宮大路沿いの由比ヶ浜に住んで20年以上になります。一の鳥居辺りから見る鎌倉体育館前の新緑が好きで、会社勤めの頃は、新緑の季節に毎朝そこを通るのが楽しみでした。約42年間勤めた東京ベースの会社を昨年退職し、現在はこのＮＰＯセンターの活動とスポーツジムでの運動を楽しんでいます。

現役時代は会社生活が主で、地元の活動にはほとんど興味なく、また人間関係も会社が中心であり、地元での人間関係はほとんどない状況でした。良くある話ですが、退職を意識する中で初めてその状況を実感するようになり、地元鎌倉での市民活動に興味を持つようになりました。

調べてみると、鎌倉には大変多くの市民活動があり、「こんなこともやっているのか！」という思いを強く持ち、そのサポートを行っている鎌倉ＮＰＯセンターに入会しました。

現役時代は、カナダのカルガリーに約４年間駐在し、夏の快適さとマイナス30度の厳寒の冬を楽しみました。バンフ、レイクルイーズ、ジャスパーに至るカナディアンロッキーは圧巻です。是非訪れてください。趣味は旅行ですが、お酒と料理も好きで、特にイタリアンが自慢です。

現在ファンド部会に参加しており、今年20周年という記念の年で、できる範囲で焦らずゆっくりとやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

小山俊一

＜主要スケジュール＞
■総会（5/26 15:00～
若宮大路ビル）

会　員　募　集

運営会議は会員によって
支えられています。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000 円
　団体正会員　3,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、２口以上
　団体 1,000 円、３口以上

正会員数	７９名
団体正会員数	９団体
賛助会員数	27 名
賛助団体数	193団体

（3月1日現在）